

当山青壮年部・女性部 大本山妙心寺に団体参拝

榎ノ木

第八号

平成26年3月15日発行

青壮年部女性部広報

題字：大内翠峰

大本山妙心寺
団体参拝特集



妙心寺の開基、花園法皇様(第95代天皇)の御陵前にて

「あいさつ」

青壮年部・女性部 会長 石垣英孝

平成22年7月に、当会が発足して、間もなく四年になります。又、広報誌「榎ノ木」も第八号になりました。

檀信徒の皆様やご住職そして会員・役員の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

発足当初は、何も分からず正に暗中模索、手探りをしながらのスタートでありました。御住職や総代様のご指導、ご協力を頂き、何とか今日を迎えることが出来ました。

間もなく彼岸、この時期になると、どうしても三年前の3月11日の事を思い出します。特に、気仙沼

市地福寺御住職、片山秀光師をお招きしての「めげない、にげない、くじけない」の節語り説法や「樹木葬

研修と津波被災地を訪ねる旅」など、数々の行事を実施してきました。又、行事ごとに、女性部による手作りの料理を提供し、参加者の方から大変喜ばれております。

今後は、地域との連携をもっと強く、深くしながら、更なる会の発展を目指し、会員の絆を大切にしたいものです。

これからも皆様の御協力・御指導賜りますようお願いいたします。

最後に、檀信徒皆様の益々の御多幸を御記念申し上げます。合掌

花園法皇様とは・・・

大本山妙心寺建立の詔勅(みことり)を出され、その基を築かれた「開基(かいき)」様です。第95代天皇を御年二十歳で退かれ、上皇となられた後、深く仏教、特に禅の教えに帰依され、永年の御修行の後、遂にお悟りを開かれ、御出家され法皇となりました。

禅の教えにより人々の悩み苦し

みを救いたいとの切なる願いから

御自分のお住まい「花園」離宮の地に妙心寺を建立されました。その御縁により、昨年6月天皇・皇后両陛下が妙心寺を参拝されました。

今回は宮内庁の許可を得て、職員立会いの下、厳かに正式な御陵の参拝させて頂きました。手水で口を浄め一同で般若心経一巻を読経させて頂きました。

妙心寺団体参拝

当山の大本山妙心寺団体参拝が11月16～18日の二泊三日、三十六名の参加者によって実施されました。

16日早朝六時に出発し一路、京都大本山妙心寺へ昼前に無事到着。私達を歓迎するかの様な晴天に恵まれ、清々しい気持ちで団体参拝のスタートを切ることが出来ました。

今回の団体参拝は、御住職のお計らいにより、常には非公開で入ることの出来ない、妙心寺開山堂、微笑庵（1337年に妙心寺を創建された初代住職、開山慧玄禅師が祀られている）団体参拝諷経を行った微妙殿、それに東海庵、妙心僧堂をそれぞれ和尚様の詳しい説明を頂きながら、さらに東福寺開山堂、千人禅堂の特別拝観及び花園法皇様御陵へは宮内庁から参詣許可を得て頂き、参拝が正式に実現できましたことは、参加者全員が感銘されたことと思います。



歴史と風格ある妙心寺の正門

京都の紅葉散策、精進料理にイタリアンコース料理、それに代表五名の方々の舞妓体験と、充実した三日間の団体参拝を経験されたと思います。

広報部部員五名が参加し、写真取材、自らの舞妓体験と、また参加者全員へのアンケート取材を実施し、以下のようにまとめて記載いたしました。

ご購入ください。

大本山の風に感無量



3年前に来た時より今回の方が重みを感じた。回数を増すことに見方が変わってくると思う。 早坂俊則

妙心寺僧堂、東海庵、東福寺千人禪堂



大庫裡での粥座（しゅくざ）

坐禅・朝食（おかゆ）の作法が、とてもためになりました。

若い和尚さんの修行の厳しさ、今でも毎日大変なことをされているのに驚きました。

湯豆腐・竹仙・体にやさしいお料理でとてもおいしくいただきました。又、毎回の食事もおいしく残さず全部頂きました。

浅井房枝



東福寺千人禪堂

食事の所作を体験でき、ためになりました。古き良きものを受け継ぎ後世に伝えることを旨とし身を引き締めて日々の生活をするあたりまえの大切さを考えさせられました。

佐々木美和子



精進料理に思わずニッコリ！

花園法皇御陵参拝

住職の心配りでめったに参拝できない花園法皇の御陵を拝観お参りできたことは感激でした。3日間天気に恵まれ充実の団参でした。

浅井 茂



東海庵書院南庭の奥深い説明に感動

早朝より坐禅と法話を聞き冷気の中、心身ともに清々しく感じられました。

通天橋を渡り由緒ある庭園の数々を拝観し神聖な霊域の中でのひと時を過ごしました。

僧侶の読経の中に我が家代々の霊位と今年永眠いたしました父の法名を聞きありがたく感じました。父も喜んでいただきたいと思います。

平 愛子

大満足! 京都の旅



二尊院の御廟へ登る石階段の両脇の紅葉、東福寺の紅葉が美しかった。
鵜橋 初雄



京都と言えば世界遺産の清水寺!



東山永観堂にて紅葉のライトアップを堪能



3日目のランチはイタリアンのコース料理



横橋さんの誕生日にケーキのサプライズ!



すれ違う舞妓さん(?)に見とれる見返り広報部員

舞妓変身！体験

今野範子

何だか艶（なま）めかしい色合いの襦袢・・・

むふふ、私の脳裏にはポスターによくある可愛らしい舞妓さんに変身した姿が・・・真剣に着物の柄を決めると、ではお化粧を、と椅子に座らせられた。

ワクワク。厚塗りすればきつと私だってあのポスターのように・・・は甘かった。

塗り始めてすぐに撃沈・・・なな、何と！白塗りの化粧を施すほどに・・・恐ろしく変身していく。シワとたるみがこれでもかと存在を誇示。

ああ、現実とはそういうものか。すっかり意気消沈。

ええいもう儘よと観念してカツラをかぶらせてもらい少しは顔が隠れるのでほっとして、何だか涙ぐましい。

業者はさすがにプロ。微動だにしない態度で「ヨイショー」しながら写真撮影。そして散歩へと連れ出して楽しませてくれた。



はんなり舞妓姿5人組、どうぞ？

見るに堪えない私もそんなにしないで頂いて本当に感謝！楽しい思い出となっています。有り難う！
一緒に変身した四人様はなかなかのものでした。
ウチの夫は、後日写真を見てお仲間の二人を本物の舞妓さんと間違ったくらい。
さあ、どなたか今度は「芸妓さん」に挑戦してみませんか？

舞妓体験を終えて

早坂妙子

祇園・白川の辺にあるスタジオで、先客らしい二人組の若い女の人が写真を見ていたので、「見せてもらってもいいですか？」と見せていただき、「とてもきれいで、若いっていいなあ。私たちもこんなに変わるの？」と思いました。

あつという間に引っ張られ、目は薄目明けでメイク。着物も「これかな？」と言ったら「はい、これね」と言われ、ぱっぱと着せられ、カツラをかぶせられ、出来上がり。16枚写真を撮りました。



♪♪振り向～かないで～♪♪

その後、五人が出来上がるまで待っている。「外に出ましようか？」と聞かれました。せっかくなので、これで終わりはもったいない。少し「ドキドキ」であったが、高い下駄「木履（ぼっくり）」を履き、こわい、こわいと足元に注意しながら「笑わないように、口を開けないように」と案内人に言われながら歩くと、目の前には観光客がいっぱい。（中には外国人もいました。）一斉にカメラを向けられ、なんか芸能人になった気分でした。
街並みもとてもきれいでした。
最初は戸惑いましたが、徐々に度胸が出てきて楽しくなりました。人生一度の経験でもあり宝物です。とても良い思い出になりました。

成道会大般若祈祷に参加して

鵜橋 良子

師走12月7日(土) 今年最後の三仏忌の一つの成道会、大般若祈祷が開催されました。

回を重ねる毎に、準備も手際よくなり、早朝より境内清掃、女性部数人で本堂等を念入りに掃除、総代の方々の会場設営を午前中に済ませ、午後2時より開会されました。

成道会とはお釈迦様がお悟りを開かれたお祝いの法要とのことでした。最初に坐禅。御詠歌の奉詠がありました。総代の方々、参加された檀信徒の人たちとお経をあげ、焼香して法要が行われました。

大般若祈祷は十数人の和尚様方が大音声をあげながら大般若経の経本六百巻を転読し、出席された檀信徒の人は車座になり、鐘の音に合わせて、「南無阿弥陀仏」の念仏を唱え、大数珠を回しました。

今年一年の厄払い、家内安全を祈りながら盛大に行われました。和尚様方の転読(経本を上下、左右に扇のように開く)はとても迫力があり圧巻です。



迫力ある経本の転読



読経と念仏コラボレーション



御詠歌の奉詠も心に沁みました。

今後の行事予定

◎3月23日(日)
境内墓地掃除

◎3月26日(水)
役員会

◎3月19日(月)
降誕会子育て水子地藏祭り

編集後記

第八号の特集として平成25年11月16日〜18日の「大本山妙心寺団体参拝」での体験談を紹介しました。

今回の団体参拝で妙心寺法務課長様をはじめ多数の方々にも丁寧な説明を頂き、参加者にも大変お世話になりました。檀信徒・会員のつながりもより強くなり、充実感・満足感のある団体参拝でした。

今年も皆様のご協力を頂きながら、紙面の充実に努めてまいりますので引き続きよろしくお願いいたします。

広報部

部長 鵜橋初雄
副部長 佐藤 彰
部 員 小川弘吉 早坂妙子
浅井明美 浅野澄江
相澤敏晴

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部
〒九八一・三六二五
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三